

令和 6 年度北陸ブロック麦の生産・販売に係る意見交換会資料 R6 年 6 月 28 日

農研機構 東北農業研究センター

畑作園芸研究領域 畑作園芸品種グループ

1. 主要育種目標

東北農業研究センターでは、東北・北陸等寒冷地向け日本めん、パン・中華めん用小麦の育成を行っている。

目標：早生、耐雪性（根雪期間 120 日が目標）、耐寒性、耐倒伏性、難穂発芽性、病害抵抗性（赤かび病、縞萎縮病、赤さび病、うどんこ病）、多収、容積重大、外観品質良、加工適性良

日本めん用：めんの色相に優れた系統、麺の粘弾性向上、高製粉性の導入

赤さび病、うどんこ病抵抗性遺伝子の導入

パン・中華麺用：グルテニンサブユニット構成の改良による生地物性、製パン性に優れた系統、中華めんの色相に優れた系統

その他：耐雪性にすぐれ粒大が大きいもち系統、寒冷地向け醸造用大麦品種

2. 東北・北陸地域における品種の普及状況（令和 5 年産）

東北・北陸地域における品種の普及状況は下記の通りである。日本めん用品種は「ナンプキラリ」、パン・中華麺用品種は「夏黄金」が最新の品種である。

品種名	用途	育成年次	作付面積 (ha)	栽培地
ゆきちから	パン用	2002	1751	岩手、青森、山形、福島、新潟、他
ナンプコムギ	パン用	1951	1090	岩手、山形、他
ネバリゴシ	日本めん用	2002	589	青森、岩手、秋田
夏黄金	パン用	2017	523	宮城、新潟
銀河のちから	パン用	2011	500	岩手、秋田
キタカミコムギ	日本めん用	1959	252	青森
ナンプキラリ	日本めん用	2018	75	岩手
もち姫	もち	2006	66	青森、岩手、他

3. パン・中華麵用品種「夏黄金」の特性

2017年に育成された硬質のパン・中華麵用品種。旧系統名は「東北 229 号」。ノーマルアミロース、強力タイプ（*Glu-B1u*、*Glu-D1c*、*Glu-B3g*）。播性V、やや早生種。穂発芽性が難で、収量は「ゆきちから」と同程度。製粉歩留や蛋白含量は「ゆきちから」と同程度であるが、グルテンの質が強く、製パン適性に優れ、「ゆきちから」では難しい食パンをはじめ、多種類のパンを製造することができる。宮城県で2017年から奨励品種採用。新潟県、福島県等で試験栽培開始。

4. 「夏黄金」の普及状況

現在の普及状況は下記の通りである。

都道府県	面積	状況
宮城県	480 ha	奨励品種採用、種子生産体制確立
新潟県	62.8 ha	産地品種銘柄申請済み

このほか、東北、北陸の複数産地で試験栽培、現地栽培、種子生産開始を検討している。

5. 「夏黄金」の流通・利用状況

宮城県産「夏黄金」は令和6年産で初めて民間流通麦の入札結果が公表された。上場数量600トンに対して申込倍率は2.3と引き合いが強く、指標価格は77,069円であった。

1) 公益財団法人宮城県学校給食会の国内産小麦100%使用パン

令和4年4月から国産小麦100%使用のパンの提供が開始された。小麦粉の配合割合は宮城県産「夏黄金」40%、宮城県産「シラネコムギ」10%、北海道産「ゆめちから」50%である。以前のパンと比べて評判が良く、残食の量が減ったとの声がある。

2) 極上の喜多方ラーメン

“地元でしか作れない・味わえないもの”というコンセプトに基づき、地元産の食材を活用し、インバウンド向けの需要を狙った1杯3,000円の高価格帯ラーメン。国産小麦100%の中華麵は、喜多方市で栽培されている「ゆきちから」に加えて宮城県産「夏黄金」が使用されている。「夏黄金」の中華麵適性は喜多方ラーメンにおいて高く評価されている。